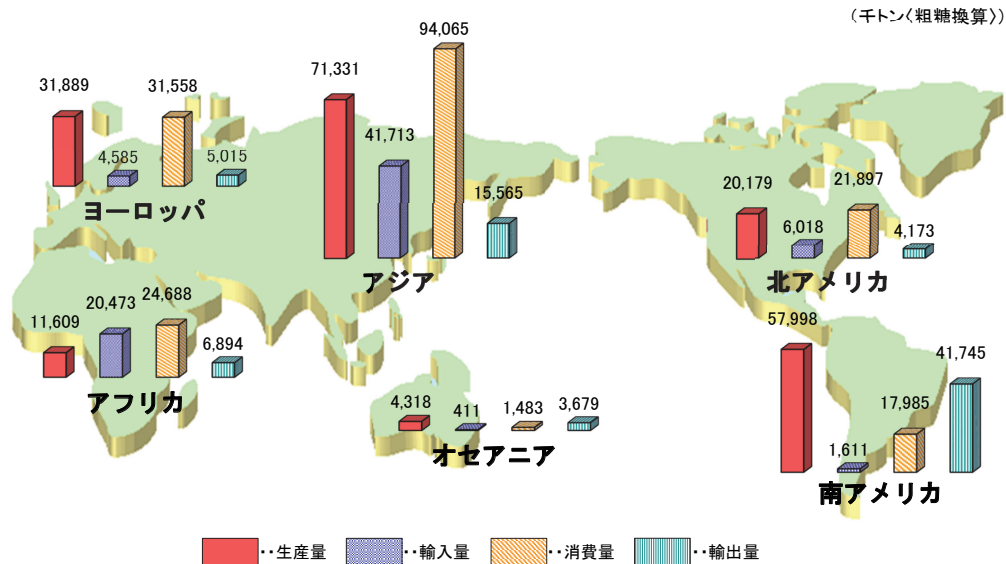


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

1 世界の砂糖需給（2024年6月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2023/24年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

（単位：千トン〈粗糖換算〉、%）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1993/94	43,011	111,671	29,296	111,545	30,792	41,641	37.3
1998/99	55,071	134,755	36,987	124,048	39,954	62,812	50.6
2003/04	67,776	143,453	44,661	145,044	47,150	63,697	43.9
2008/09	67,085	150,476	48,241	160,676	49,830	55,297	34.4
2013/14	63,710	184,058	58,323	175,873	61,044	69,173	39.3
2018/19	80,727	186,660	61,474	182,930	61,506	84,426	46.2
2019/20	84,426	181,781	69,283	182,416	71,703	81,372	44.6
2020/21	81,372	181,931	66,766	184,867	68,152	77,050	41.7
2021/22	77,050	186,409	69,260	188,083	71,320	73,317	39.0
2022/23	73,317	191,489	70,654	189,764	71,649	74,048	39.0
2023/24 (2024年6月予測)	74,048	197,323	74,811	191,677	77,071	77,435	40.4

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2024」
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。
 注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。

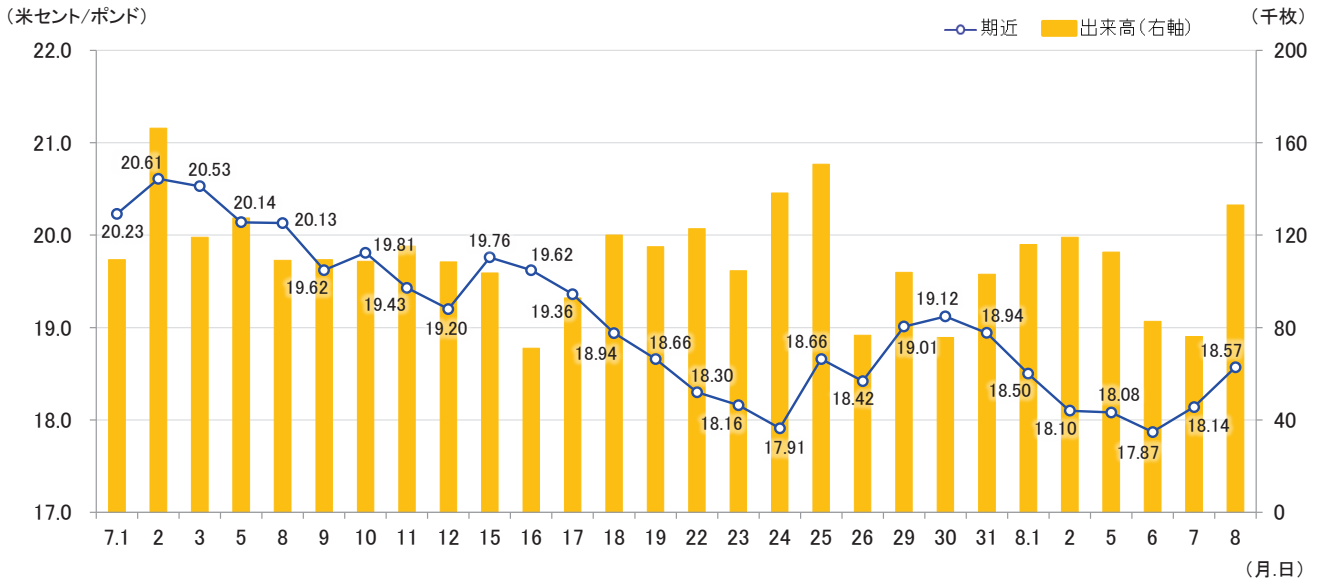
「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2024年10月号の掲載となります。直近の内容は2024年7月号をご参照ください。
 「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003155.html
 「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003156.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（7/1～8/8）

～世界的な砂糖の余剰予測などにより、一時17セント台まで下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近10月限の値。

2024年7月のニューヨーク粗糖先物相場（10月^がぎり限）の推移を見ると、1日はリアル安（注1）により前取引日から下落したが、2日はインドやブラジルでの平年を下回る降水量がサトウキビ減収への懸念材料となり、1ポンド当たり20.61セント（注2）と上昇した。3日以降はインド砂糖・バイオエネルギー製造業者協会（ISMA）が政府に対し、2023/24年度産砂糖の余剰分について輸出許可を要請したことなどから、9日には同19.62セントまで下落した。10日はリアル高により同19.81セントと上昇したが、11日以降はブラジル産砂糖の増産により下落し、12日には同19.20セントをつけた。15日はモンスーン期中のインドの降水量が平年を下回ったことで上昇に転じたが、16日以降は原油安（注3）や民間コンサル会社による24/25年度産砂糖の世界的な余剰予測により下落した。22日以降は中国人民銀行の利下げや日本のGDP見通しの下方修正など

世界経済への先行き不安からさらに下落し、24日には同17.91セントと22年10月以来となる17セント台をつけた。25日以降はブラジルの中南部地域で7月前半の砂糖生産量が前年度実績を下回ったことなどから上昇し、30日には同19.12セントをつけた。31日以降はインドの降水量回復による砂糖の増産見込みなど供給不安が和らいだことで下落し、8月6日には同17.87セントまで下落した。7日以降はリアル高やインドの砂糖輸出規制の継続が発表されたことから、8日は同18.57セントまで上昇した。

（注1）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

(注2) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(注3) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産

への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの割合が大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2024年8月時点予測)

ブラジル

2024/25年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：874万ha(前年度比4.0%増)

生産量：6億6294万トン(同7.0%減)

【砂糖(甘しゅ糖)】

生産量：4709万トン(同4.5%減)

輸出量：3683万トン(同2.3%減)

2024/25年度のサトウキビ生産量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度(4月~翌3月)のサトウキビ収穫面積は、874万ヘクタール(前年度比4.0%増)とやや増加が見込まれている(表)。一方、サトウキビ生産量は、中南部地域での干ばつにより、サトウキビの変色や枯死など不作が懸念されることで、6億6294万トン(同7.0%減)とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、干ばつによる影響でサトウキビに含まれる砂糖の主成分であるショ糖の割合が減少していることから、4709万トン(同4.5%減)とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インドの輸出制限やタイの減産により、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が期待される中で、減産を背景に3683万トン(同2.3%減)とわずかに減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

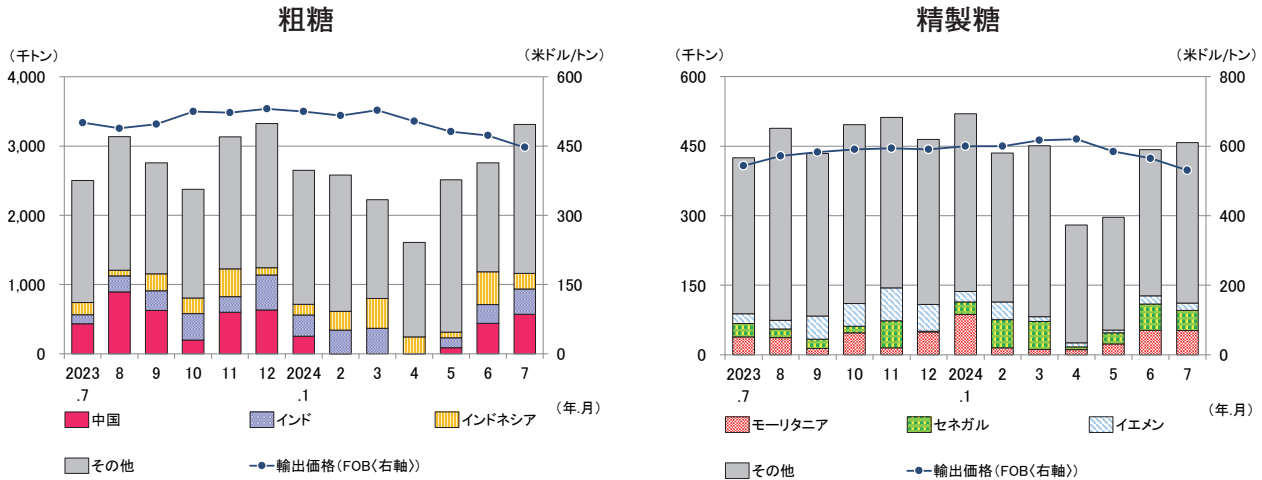
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (7月予測)	2024/25 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,741	8,741	4.0%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	662,160	662,940	▲ 7.0%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	47,920	▲ 4.5%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 22.0%
	消費量	10,712	10,769	10,800	10,800	0.0%
	輸出量	27,093	28,985	37,677	37,661	▲ 2.3%
	期末在庫量	3,533	3,481	4,329	3,741	▲ 12.3%
	期末在庫率	9.3	8.8	8.9	7.7	8.0

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



インド

2023/24年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 555万ha (前年度比2.0%増)
 生産量: 4億4474万トン (同2.4%減)

【砂糖 (甘しや糖)】

生産量: 3468万トン (同2.0%減)
 輸出量: 414万トン (同52.1%減)

2023/24年度の砂糖輸出量は減産と国内供給の確保により大幅に減少する見込み

2023/24年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、555万ヘクタール (前年度比2.0%増) とわずかに増加が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、主産地であるウッタル・プラデーシュ州やマハラシュトラ州での減産などにより、4億4474万トン (同2.4%減) とわずかに減少が見込まれている。

砂糖生産量は、ウッタル・プラデーシュ州でサトウキビが大量にジャグリー (注) 生産へ仕向けられ、

製糖工場での破碎量が減少したことなどから、3468万トン (同2.0%減) とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、同国政府による砂糖の輸出制限により、414万トン (同52.1%減) と大幅な減少が見込まれている。前述の通りISMAが、政府に対して余剰分の砂糖について輸出許可を要請するなどの動きはあるものの、政府は輸出制限を継続する意向を示している。

(注) アジアや米国の一部地域で伝統的に製造される含蜜糖。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

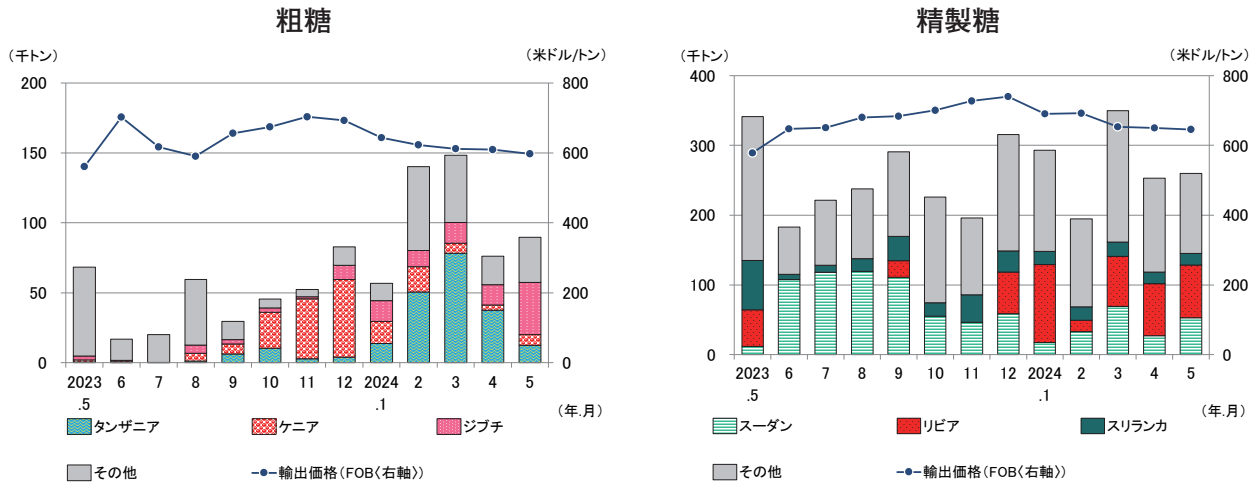
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (7月予測)	2023/24 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	4,819	5,222	5,441	5,215	5,549	2.0%
サトウキビ生産量	415,221	481,599	455,898	436,937	444,740	▲2.4%
砂糖	生産量	33,642	38,559	35,389	34,677	▲2.0%
	輸入量	1,037	427	1,687	3,568	2.0倍
	消費量	28,679	29,516	30,078	31,644	4.1%
	輸出量	8,538	12,468	8,646	4,123	▲52.1%
	期末在庫量	7,971	4,973	3,325	5,802	58.8%
	期末在庫率	21.4	11.8	8.6	16.2	16.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

中国

2023/24年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：110万ha(前年度比0.2%減)

生産量：7312万トン(同16.8%増)

【てん菜】

収穫面積：17万ha(同8.2%減)

生産量：938万トン(同7.6%増)

【砂糖(甘しゅ糖およびてん菜糖)】

生産量：1077万トン(同11.0%増)

輸入量：730万トン(同24.1%増)

2023/24年度の砂糖生産量はかなり大きく、 輸入量は大幅に増加する見込み

2023/24年度(10月～翌9月)のサトウキビの収穫面積は、110万ヘクタール(前年度比0.2%減)

と前年度並みが見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、当初、24年1月に広西チワン族自治区と雲南省で発生した降霜が生育の懸念材料とされていたが、収穫作業が順調に進んだことで、7312万

トン(同16.8%増)と大幅な増加が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、内モンゴル自治区で農家が他の競合作物を選択したことなどから、17万ヘクタール(同8.2%減)とかなりの程度減少が見込まれている。てん菜生産量は、機械化の推進などにより単収が増加したことで、938万トン(同7.6%増)とかなりの程度増加が見込まれている。

砂糖生産量は、原料作物の生産回復を背景に1077万トン(同11.0%増)とかなり大きく増加し、21/22年度の水準までの回復が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き需給ギャップ是正のために一定の輸入量が予想されていることから、730万トン(同24.1%増)と大幅な増加が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

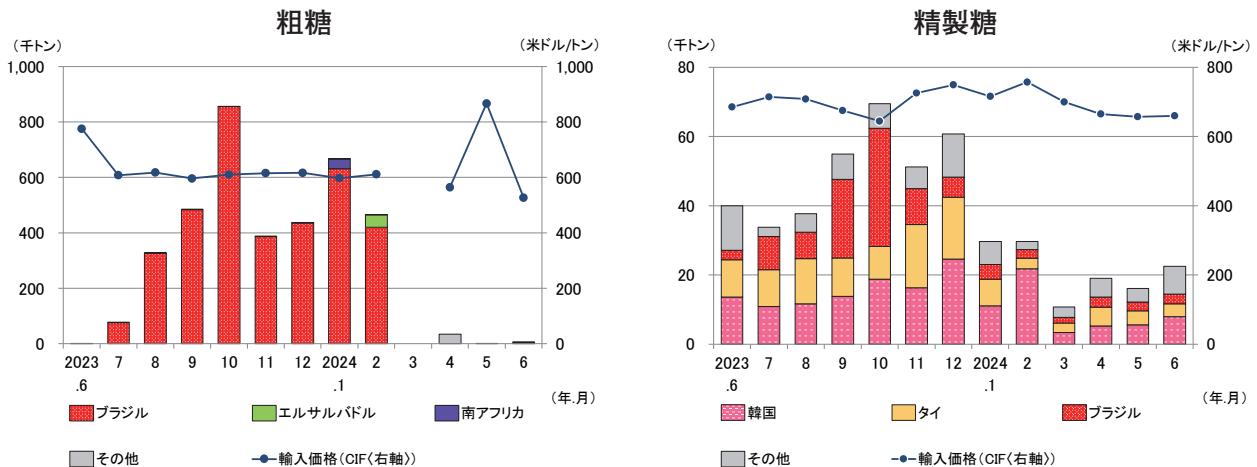
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (7月予測)	2023/24 (8月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,157	1,119	1,102	1,100	1,100	▲0.2%	
サトウキビ生産量	72,441	72,136	62,595	73,124	73,124	16.8%	
てん菜収穫面積	231	144	182	167	167	▲8.2%	
てん菜生産量	12,330	7,070	8,719	9,377	9,377	7.6%	
砂糖	生産量	11,530	10,334	9,698	10,769	10,769	11.0%
	輸入量	8,186	6,969	5,885	7,200	7,300	24.1%
	消費量	16,740	16,632	16,578	16,956	16,956	2.3%
	輸出量	134	172	201	200	200	▲0.2%
	期末在庫量	16,091	16,590	15,394	16,206	16,307	5.9%
	期末在庫率	95.4	98.7	91.7	94.5	95.0	3.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖(粗糖・精製糖別)の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

注3：2023年6月、24年5月、6月の粗糖輸入量は、千トン未満。

注4：2024年3月の粗糖輸入は、実績なし。

4 日本の主要輸入先の動向（2024年8月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゅ糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しゅ糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha（前年度比0.2%減）

生産量：3115万トン（同4.7%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：414万トン（同0.3%増）

輸出量：311万トン（同7.3%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比0.2%減）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫開始時期以降は天候が大幅に回復して生育が順調に進んだことから、3115万トン（同4.7%増）とやや増加が見込まれている。

砂糖生産量は、414万トン（同0.3%増）と前年

度並みが見込まれている。現地報道によると、豪州最大の精糖企業で発生したストライキがまだ解決しておらず、工場の操業開始が遅れ、原料処理量は前年度を下回って推移しているとされる。砂糖輸出量は、アジア地域に加え、50年ぶりに輸出が再開された英国向けの伸びが引き続き期待されるものの、ストライキによる生産の遅れから、311万トン（同7.3%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

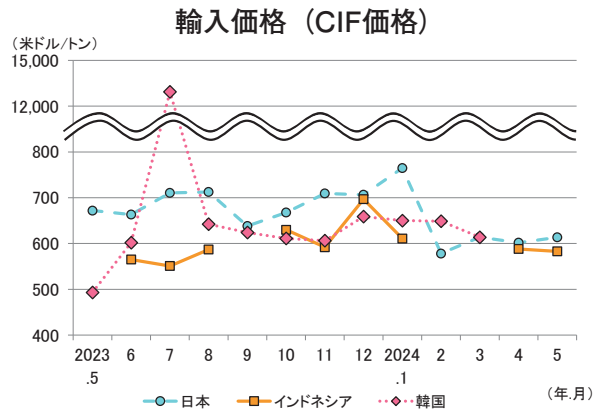
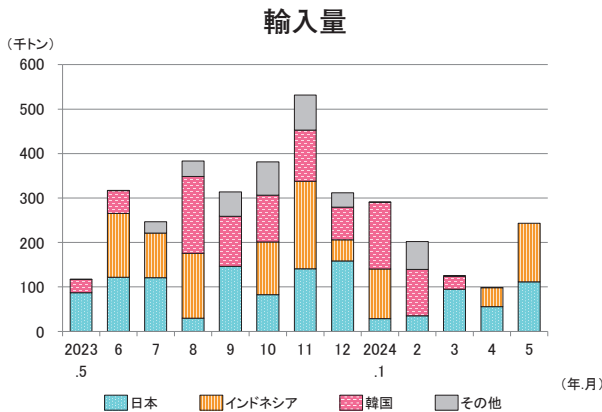
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (7月予測)	2024/25 (8月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	341	358	340	▲ 0.2%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	31,022	31,153	4.7%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,100	4,140	0.3%
	輸入量	9	8	10	11	11	15.1%
	消費量	1,037	1,033	1,030	1,031	1,038	0.7%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,080	3,113	▲ 7.3%
	期末在庫量	389	719	470	490	470	0.0%
	期末在庫率	8.7	18.1	10.7	11.9	11.3	0.6ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2023年5月、9月、24年2月、3月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月の輸入量は実績なし。23年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2023/24年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：152万ha（前年度比0.2%増）

生産量：8217万トン（同12.5%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：932万トン（同20.3%減）

輸出量：615万トン（同23.2%減）

2023/24年度の砂糖生産量および輸出量はサトウキビの減産により、大幅に減少する見込み

2023/24年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、152万ヘクタール（前年度比0.2%増）と前年度並みと見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、エルニーニョ現象による天候不順で不作傾向となったことなどから、8217万トン（同12.5%減）とかなり大きな減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産やこれまでの収穫分の可製糖率（CCS）^(注)が低いことで、932万トン（同20.3%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖生産量の減少を背景に615万トン（同23.2%減）と大幅な減少が見込まれている。

(注) サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

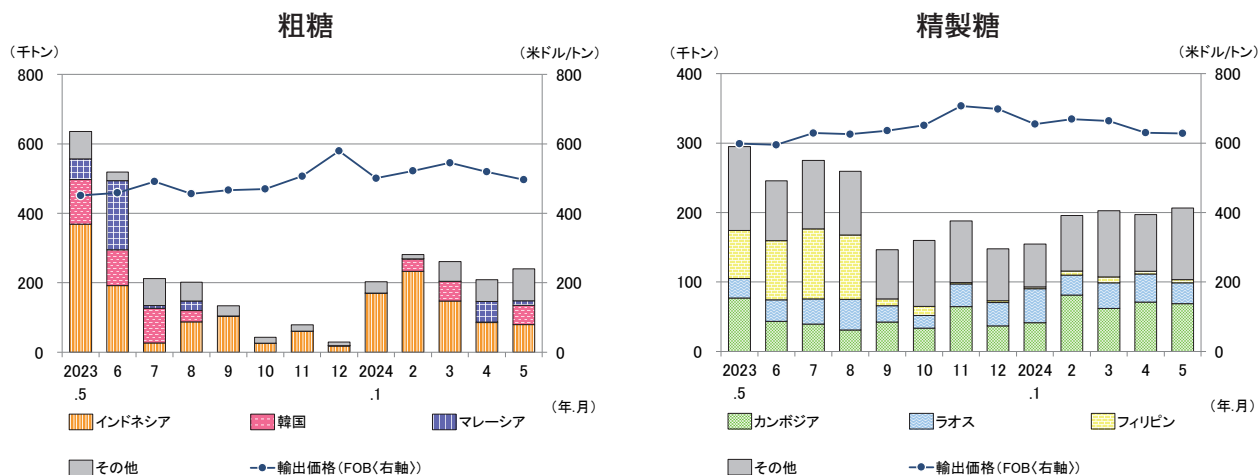
年度	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 (7月予測)	2023/24 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,485	1,525	1,514	1,518	1,518	0.2%
サトウキビ生産量	66,659	91,145	93,888	82,167	82,167	▲ 12.5%
砂糖	生産量	8,046	10,643	11,682	9,316	▲ 20.3%
	輸入量	111	149	283	100	▲ 64.7%
	消費量	3,592	3,424	3,348	3,372	▲ 0.8%
	輸出量	3,950	7,867	8,002	6,309	▲ 23.2%
	期末在庫量	5,147	4,649	5,263	4,999	▲ 1.0%
	期末在庫率	68.2	41.2	46.4	51.6	55.0

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2024」

注1：2021/22年度および2022/23年度の数値は推定値、2023/24年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。